

# 耕平さんかわら版

皆さん、こんにちは。総選挙が終わりました。特別国会が今日から始まりますが、今後の政治や政策のあり方をお考え頂くために、ひとつの視点をお示しします。

## 「小さな政府」と

### 「国民負担率」

今の日本の財政状況を考えて、「小さな政府」という方向性は、どこが政権を担っても共通の方向性だと思えます。何しろ、公表されている国と地方の長期債務(期間一年以上の借金)だけで約七百兆円、短期債務や隠れ借金を含めると千五百兆円は下らないと言われています。

ところが、不思議なことがひとつあります。税金と社会保険料の負担を合算して「国民負担率」と言いますが、政府、とくに財務省は、「日本の国民負担率は諸外国に比べて低い」ということを一貫して

主張しています。「だから、もっと税金や社会保険料を負担してください」という理屈です。ということは、今の日本は「小さな政府」の状態にあるということでしょうか。そうであるとすれば、「小さな政府」を目指すというのは妙なことです。

国民の皆さんは、「国民負担率がそんなに軽いという感じじゃないけどなあ・・・」というのが実感ではないでしょうか。

その理由はふたつあります。ひとつは、税金と社会保険料以外にも、老後や病気に備えた貯蓄や民間保険の保険料負担があるためです。つまり、私的な社会保険料と言えます。もうひとつは、歳出の側で「国民負担率」に見合ったサービスが受けられていないということです。

「国民負担率」的には「小さな政府」なのに、歳出の中にムダなものや不要不急の支

# 版

発行編集部

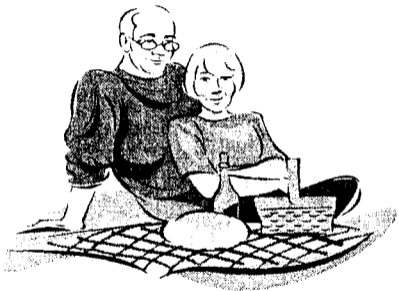
大塚耕平事務所

☎052-757-1955

[Kouhei@oh-kouhei.org](mailto:Kouhei@oh-kouhei.org)



出が含まれているため、社会保障サービスが十分ではないということかもしれません。いずれにしても、「国民負担率」を諸外国と比較する場合には、こういう点も考慮に入れた正確な議論が必要です。分かりにくい内容かもしれませんが、少し表現の仕方を変えると、「今は小さな政府だと主張している一方で、小さな政府を目指すというのはなぞですか？」ということですが、何だかクイズのようですが、このクイズの答え、今日からの国会で、谷垣財務大臣に改めて聞いてみたいと思います。



# 覚王山ZokuZoku コーナー

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——  
<今回は、「ヴァン27セツ」さんです>

広小路通南側、覚王山バス停近くに建つ覚王山プラザビル、その1階左手前のフティックがヴァン27セツさんです。

まず、お店の名前が印象的なので、その由来を店長さんに聞いてみました。いわく、ヴァン・セツはフランス語で27の意味、27という数字には印象的な思い出が多く不思議な力を感じるのだとか。

お客様の多くは30~50代の女性の方ですが、店長さんと世間話を楽しみ、そのついでに買い物をしていく方がほとんどだそうです。店長のお人柄が偲ばれます。

独特な雰囲気のお店は、少し覗くと吸い込まれそう。フティックとはいえ、品揃えは洋服だけではなく、アクセサリーを含め多種多様。皆様も、一たび来店すれば必ず何か欲しい物が見つかるのではないでしょうか。

ヴァン27セツ: 052-764-2770



●民主党新代表に前原誠司さん

「党再建のため、共に頑張りましょう!」

Yoshi

